

危険！ 消火器、ガスボンベなどの排出

ID 1020061



不燃ごみ袋に市では処理できない消火器、ガスボンベなどが含まれて排出されています。処理時に爆発の可能性があるため、不燃ごみ袋には入れずに販売事業者の回収や処分ができる業者に処理をしていただくようお願いいたします。ごみの分別でご不明な点がありましたら、ごみゼロ推進課へお問い合わせください。



▲不燃ごみ袋に入っていた消火器やガスボンベ

まちの話題

「災害時における衛生物資等の供給協力に関する協定」を締結しました

ID 1020233 防災安全課 (☎042-514-8962)

このたび、(株)インファーマシーズと「災害時における衛生物資等の供給協力に関する協定」を締結しました。

この協定により、災害時にマスクやガーゼなど、コロナ禍の避難所運営においても必要不可欠な衛生物資の提供の協力を受けることが可能となります。



▲左から(株)インファーマシーズ代表取締役社長 大石美也氏、大坪市長



にじいろ通信 ~もっと知ろう！性の多様性のこと

ID 1020083 平和と人権課 (☎042-584-2733)



性の多様性について、広く皆さまに知っていただくためのコラムです。第3回はカミングアウトとアウトティングについてです。

カミングアウトとは

自身の性のあり方について、自発的に他人に明らかにすることを言います。カミングアウトは義務ではなく、自分が伝えたいと感じたタイミングで、自分が伝えたい相手にするものです。

アウトティングとは

他人の性のあり方を、本人の承諾を得ないまま、第三者に明かすことを言います。カミングアウトをされたら

しても、「誰にでも話していい」というものではありません。

過去には、アウトティングをされた当事者が心身に変調をきたし、転落事故死するという事件がありました。

また、良かれと思った行動がアウトティングにつながることもあります。カミングアウトを受けた場合は、対応を考えるためにも、「誰に」「どこまで」話してよいか本人への確認が重要になります。

市長のうごき

ID 1008201 市長公室秘書係 代表

7月9日に日野駅、高幡不動駅、イオンモール多摩平の森で「社会を明るくする運動」の街頭広報活動が3年ぶりに行われました。

市長は、イオンモール多摩平の森前にて更生保護への周知活動を行いました。



▲街頭広報活動の様子

※「市長のうごき」は、市HPをご覧ください



職員Mの “ひのの未来” 観察日記

vol.3 一緒にミライを描いてくれる人募集！

ID 1020051 企画経営課 (☎042-514-8038)

こんにちは！職員Mです！今回は、広報6月号で募ったアンケート回答とワークショップの開催についてお知らせします。

広報6月号で質問した「日野市の好きなところを教えてください」というアンケートでは、10～70歳代の幅広い年齢層からご回答をいただきました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。いただいた回答は市HPに掲載しています。下記QRコードから、ぜひご覧ください。あなたの回答が載っているかもしれません。

「日野市の好きなところを教えてください」の回答▶



また、9月からは日野のミライを話し合う「ひののミライ井戸端会議」を開催します。この会議では、10年後どんな街にしたいか、自分たちの暮らしの中で何を大切にしていきたいかなど、さまざまなテーマを設けて、楽しみながら考え、皆さまと一緒にアイデアを出していきます！日野市が好きな人、新しい人とつながりたい人もぜひご参加ください。

ひののミライ井戸端会議について▶



あなたのアイデアで、一緒にミライを描きましょう！

なぜ一緒にミライを描くの？

私たちのまち日野も10年後は人口が減っていくとされています。そうした「縮んでいく社会」を前向きに捉え、何を次世代につないでいくかを私たちは皆さまと一緒に考えたいと思っています。そして、来年3月に「2030ビジョン」という形でまとめていきます。



こぼれ話 57

野趣あふれる

憩いの場「坂牧釣堀園」

ID 1020077

郷土資料館 (☎042-592-0981)



今から60年ほど前、豊田駅の北側に多摩平団地ができた頃、現在の黒川清流公園付近に「坂牧釣堀園」が開園しました。

時代は戦後の復興から高度経済成長期へ、昭和33年(1958)には多摩平団地の入居が始まり、同38年には日野市が誕生、翌39年には先の東京オリンピックが開かれた頃です。

戦後、坂牧軍治氏は、最初は自家用に鶏・山羊を飼い、養豚・農作業をしていましたが、この地が年間を通して水温があまり変わらない清れつな湧き水に恵まれていることに着目し、やがて釣り堀を始めました。

坂牧釣堀園では、ヘラブナ・マス・金魚の他、氏が錦鯉発祥の新潟県山古志育ちだったからでしょうか、錦鯉・食用鯉も扱っていました。

当時の吹上(現在の東豊田三丁目付近)には今のよう

家はなく、田んぼと畑ばかりだったので、崖線に掲げた「セントラル葡萄酒」「釣堀」、屋根の「越後特産 錦鯉」の看板が中央線の車窓からよく見えました。

釣り堀には、市内企業で働く人や社宅の人、多摩平団地の人が休日に子連れでやって来たり、中央線豊田駅にも近かったため、近隣から訪れる人もいました。木立に囲まれた野趣あふれる釣り堀は、休日に近場でホッと一息、あまりお金のかからないレジャーとして、昭和30～40年代の釣りブームと相まって人気だったそうです。

しかし、昭和40年代に入ると周辺の宅地化が進んだため、坂牧釣堀園は幕を下ろしました。

黒川清流公園は、今も人々の憩いの場となっています。



▲坂牧釣堀園(昭和34年ごろ)坂牧明氏所蔵

「ひのった」健康NOTE

第72回 テーマ：夏の感染症

ID 1014316

健康課 (☎042-581-4111)



夏の感染症がはやる時期だね。

毎年夏に子どもにはやる感染症には、「手足口病」「ヘルパンギーナ」「プール熱」というものがあります。

難しい名前前の病気だね。予防法はあるの？

特異的な治療法やワクチンはないけれど、感染予防として、こまめな手洗いやせきエチケットを心掛けることが大事です。幼稚園や保育園に通っている子は、他のお友達とタオルを共用しないことが大事です。



- 夏季にはやる小児の感染症にご注意ください。
- こまめな「手洗い」や「せきエチケット」が感染拡大防止に役立ちます。

会員募集

先着順で掲載します。2度目以降の掲載は前回掲載日の3カ月後から受け付けます。

■フォークダンス・あゆみの会 毎週月曜日午前10時から/多摩平の森ふれあい館/入会金1,000円、月2,000円/竹下(☎042-583-3320)

■アクアふじの会 毎週金曜日正午から※祝日を除く/東部会館温水プール/入会金500円、月2,500円※別途帽子代/由良(☎090-6534-3535※午後6時以降)

■ちびっこアダンス 毎週土曜日午後1時から/新川辺地区センター/年中～小学4年生対象/入会費1,000円、月3,000円/山口(☎090-2333-0860)

■日社協～手打ちうどん会 毎月第4日曜日午前9時から/中央公民館/入会金1,000円、年1,200円※別途材料費/田村(☎080-6677-1631)

■ことぶき書道の会 毎月第1・第3火曜日午後1時30分から/中央福祉センター/入会金500円、月2,500円※その他実費/久世(☎042-585-2116)

26ページへ続く